

＜筑後エリア＞

***2月28日 ギンムクドリ*十数羽 大牟田地区 石橋(信)**

ギンムクドリという珍しい鳥が出ましたが、数日でいなくなりました。



▲ギンムクドリ(雌) 撮影：中嶋秀利

***3月9日 メジロガモ*♂1 昭和開調整池 石橋(信)**

16：40 分頃大牟田の昭和開調整池へ行きました。カモの中にアレ？と思うのが居ました。



▲メジロガモ(雄) 撮影：石橋(信)

＊3月9日 マナヅル・柳川市 有明新報社 柳川地方総局より

撮影日は3月9日の午後3時15分ごろで、撮影地は住宅街の中にある畑、及び水路です。この地域は、有明海に注ぐ沖端川に近い地域で、住宅地と農地が混在するエリアです。周囲に仲間の鳥の姿はなく、この1羽だけでした。越冬から帰る途中にはぐれたのでしょうか。



▲マナヅル 撮影・提供：有明新報社 柳川地方総局

注)本件は2021年3月11日付け有明新報に掲載されました。

24年11月24日第三種郵便物認可

第22280号 (日刊)

大蛇山描いてシャッター彩る 2面
仮面ライダーも催事祈願祭に 4面
九州新幹線利用者が7万人増 5面
有明地域でも公立高一般入試 5面
荒尾消防署に新しい救急車配備 5面

有明新報
THE ARIAKE SHIMPO

統合版

2021年(令和3年)
3月11日
木曜日

救急指定
SEIWA-KAI 日本医療機能評価機構認定病院
長田病院
内科・呼吸器内科・消化器内科・循環器内科
糖尿病内科・リハビリテーション科・緩和ケア内科
柳川市下宮永町523-1 TEL(0944)72-3501

柳川で旅の一休み？

絶滅危惧種 優雅なマナヅル飛来



旅の途中に「一休み」。
柳川市の昭代地区に9日、絶滅危惧種のマナヅルが1羽、飛来しているのが発見された。畑や水路、虫や草の根ををついはむ様子が見え、優雅な姿が目撃されていた。日本野鳥の会筑後支部長なまき、住民たちが珍な動物として見つけた。(牛島 亮)



各分団からの情報を本部で集約する団員

東日本大震災発生から11日で10年を迎えるに当たり、大牟田市消防団(杉野和則団長、以下同)は、大震災を想定した情報伝達訓練を行った。市内の消防団格納庫全5か所から、被害状況や位置情報などに同市消防本部内の団本部にリアルタイムに集約。団員ら300人が参加し、SNSを使った情報伝達手順を確認した。

令和2年7月豪雨では市撮影。分団長に報告し、無内でも大きな被害が出た教訓を生かし、情報を「見える化」して共有することを目指す。災害時の情報収集能力向上を図ることが目的。訓練ではマナヅルを例に、消防車や車両、消火栓が壊れるかを確認。報告された被害状況や水利については地図やホワイトボードに書き込んだ。

「災害時には消防団と消防団に飛来したマナヅルとマナヅルは越冬のため、シベリアから朝鮮半島を経由して日本に飛来。干潟の後背地となる田園地帯や湿地で過ごすことが多く、鹿児島県出水市が多数の越冬地として知られている。松富さんは柳川でマナヅルの姿が見られたことに「とても珍しいこと。幼鳥ではなく、けがもしていない様子のため、越冬を終えて帰る途中に、立ち寄ったのだ」と話した。

マナヅルが見つかった昭代地区は、有明海に注ぐ沖端川に近く、住宅地と田園地帯が混在するエリア。近くには住民ら6人が集まり、「初めて見た」「子どもたちの背丈がある」となと物珍しさに見えた。

大地震想定し伝達訓練

東日本大震災から10年

「見える化」で情報共有

大牟田市消防団

***3月13日 花立山(城山公園)の野鳥 野田(美)**

城山公園の堤は冬の間、水を落としていましたが、3月になって水が戻り、カモが見られるようになりました。カルガモ 11、ハシビロガモ♂10、♀ 8、キンクロハジロ♂ 3、♀ 3にカイツブリ 2も確認できました。いつもは城山公園内の池にいるアヒルも、カルガモの群れに交じって堤で泳いでいました。

ジョウビタキ♂が近くまで寄ってくれましたので、菜の花をバックに写したつもりですが、菜の花がボケ過ぎですね。つぼみが大きく膨らんできた桜を見ながら堤の周囲を周っていると、マヒワの♂が一羽だけ飛んできて、近くの枝に止まってくれました。カワラヒワやモズ、ホオジロも桜の枝に止まっていたので、来週くらいは桜の花と鳥の絡みが見られそうです。



▲ジョウビタキ雄 撮影：野田(美)



▲マヒワ 撮影：野田(美)



▲アヒル 撮影：野田(美)

***3月14日 ツバメ*初認 松富士将和**

わたしの初認は、14日(日)の朝で、国分の交差点の電線に1羽止まっていた。未だ、家の周りでは見ていませんが、間もなくかな・・・です。

***3月15日 ヤナギに集まる野鳥・筑後広域公園 江口浩喜**

筑後広域公園内はヤナギの花が咲いていて、ヒヨドリやマヒワ、コイカルたちがおいしそうに花を食べていました。以前、ツリスガラも食べていたのを見たことがあります。



▲マヒワ 撮影：江口浩喜



▲ヒヨドリ 撮影：江口浩喜



▲コイカル 撮影：江口浩喜

***3月21日 筑後広域公園の野鳥 江口浩喜**

10時過ぎには雨が上がったので、筑後広域公園に行ってみました。

コイカルは今日も確認できたので、探鳥会が中止となり残念でした。

他にアマツバメ1羽が上空を飛び回っていました。ミヤマホオジロも確認しました。



▲ミヤマホオジロ 撮影：江口浩喜

***3月22日 アリスイ*1 など・筑後市筑後広域公園 江口浩喜**

いつものコースで園内を回まわっていると、木の後ろに鳥の頭がチラチラと。コゲラかなと思い、反対側にそっと移動してみると、何とアリスイでした。その距離5m、じっくり写真を撮らせてくれました。公園内でアリスイの情報は聞いていたので、ずっとみたいと思っていました。早起きは三文の徳と言いますが、その言葉通りでした。その他、メジロ、ヒバリもいました。



▲アリスイ 撮影：江口浩喜



▲メジロ 撮影：江口浩喜



▲ヒバリ 撮影：江口浩喜

***3月28日 筑後広域公園の野鳥 江口浩喜**

午前中は天気も良く、桜も満開で、桜の花に集まる鳥たちを撮影してきました。
スズメ、ヒヨドリ、メジロ、ニュウナイスズメが花を求めて集まっていました。

ヒヨドリは、嘴が花粉で黄色くなっていました。ニュウナイスズメは20羽前後いました。また、ツリスガラがガマの穂をしきりに食べていました。



▲ニュウナイスズメ(雌) 撮影：江口浩喜



▲ニュウナイスズメ(雄) 撮影：江口浩喜



▲スズメ 撮影：江口浩喜



▲ヒヨドリ 撮影：江口浩喜



▲ツリスガラ 撮影：江口浩喜

*** 4月2日 クロジ*雄、雌・清水山 石橋(信)**

清水山に探鳥に行きました。クロジの雄と雌がいました。



▲クロジ(雄) 撮影：石橋(信)



▲クロジ(雌) 撮影：石橋(信)

＜近隣エリア＞

＊3月27日 釈迦岳から日田市へ 野田(美)

大分に行く用事がありましたので、杣の里溪流公園から釈迦岳の脇を通る車道を日田市に抜けてみました。

時間がなかったので、ほぼ車窓からの探鳥でしたが、まだ葉が茂っていない青空の下、あちこちでミソサザイの美声が響き、とても気持ち良かったです。シジュウカラ、ヤマガラのさえずりに交じって、ヒガラの早口のツッピン、ツッピンが聞こえ、梢の高いところでしきりに餌を探していました。葉の茂っていないこの時期なら、車道からヒガラをゆっくり観察できます。そのほか、イカルやソウシチョウのさえずりも聞こえました。

ただ、杣の里溪流公園から上の車道は、離合できない細い道が続き、ところどころで路上に石が落ちていたりしますので、通行の際は十分注意が必要です。

日田市に抜けて大山ダムの駐車場のところで、イワツバメ十数羽が近い場所で飛び続けていました。飛び方がランダムで、飛翔も早いので、フレーミングとフォーカスが追いつきません。



▲ヒガラ 撮影：野田(美)



▲イワツバメ 撮影：野田(美)

*** 4月10日 山神ダム(筑紫野市)の夏鳥 野田(美)**

大阪市や福岡市でオオルリが確認されたみたいなので、「そろそろかな」と思って山神ダムに行ってきました。ソウシチョウがいたところで飛び回り、大きな声で囀って他の鳥の声をかき消すほどでしたが、なんとかオオルリ♂1、キビタキ♂1を確認できました。若葉の中で見る夏鳥は清々しいものがありますね。山神ダムは来週くらいからがピークでしょうか。



▲キビタキ 撮影：野田(美)

<その他の地域>

*** 3月16日 サシバの春の渡り・沖縄 川口昌尚**

仕事で沖縄本島に來ています。複数羽のサシバを確認しました。

沖縄ですが、渡りのサシバは今年の初認です。1週間には九州にも到達することでしょう。